

6 障がい児通所支援の必要見込量

サービス支給決定時の一人当たりの必要サービス量

サービス名称	サービス内容
児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行います。
医療型児童発達支援	上肢、下肢又は体幹の機能の障がいをもつ児童に、児童発達支援及び治療を行います。
放課後等デイサービス	生活能力の向上のために必要な訓練等を行い、自立の促進、放課後等の居場所づくりを行います。
保育所等訪問支援	保育所などに通う支援が必要な児童に、集団生活に適応することができるように支援を行います。
居宅訪問型児童発達支援	外出が困難な重度の障がいをもつ児童に、居宅を訪問して児童発達支援等を行います。
障がい児相談支援	サービスの利用に関する意向や、個々の事情等を勘案した支援利用計画の作成を行います。

利用見込人数（実利用者数）

サービス体系	第4期障がい福祉計画					
	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	見込
児童発達支援		14		18		18
医療型児童発達支援		0		0		0
放課後等デイサービス		11		8		12
保育所等訪問支援		0		0		0
居宅訪問型児童発達支援						
障がい児相談支援		25		26		30

一月当たりの 標準的決定サービス量	平成29年度上半期 平均必要サービス量	計画作成時の 利用者数
サービスの種類ごとに 応じて個々に必要とする 日数	8日	18人
	0日	0人
	10日	12人
	0日	0人
	平成30年4月から実施のため平成29年度中の実績はありません。	
モニタリング期間に合わせたプラン作成のため、サービス量はありません。		30人

(単位：人)

サービス体系	第1期障がい児福祉計画			平成32年度 (第5期) 目標値
	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	目標値	目標値	目標値	
児童発達支援	20	22	24	24
医療型児童発達支援	1	1	1	1
放課後等デイサービス	12	12	12	12
保育所等訪問支援	0	0	1	1
居宅訪問型児童発達支援	0	0	1	1
障がい児相談支援	33	35	39	39

実人員の現状と第1期最終年度の目標

児童発達支援は、すべてのサービスの中で一番高いニーズとなっております。

年々利用者が増加しており、毎年2名の新規利用者の増加を見込みます。

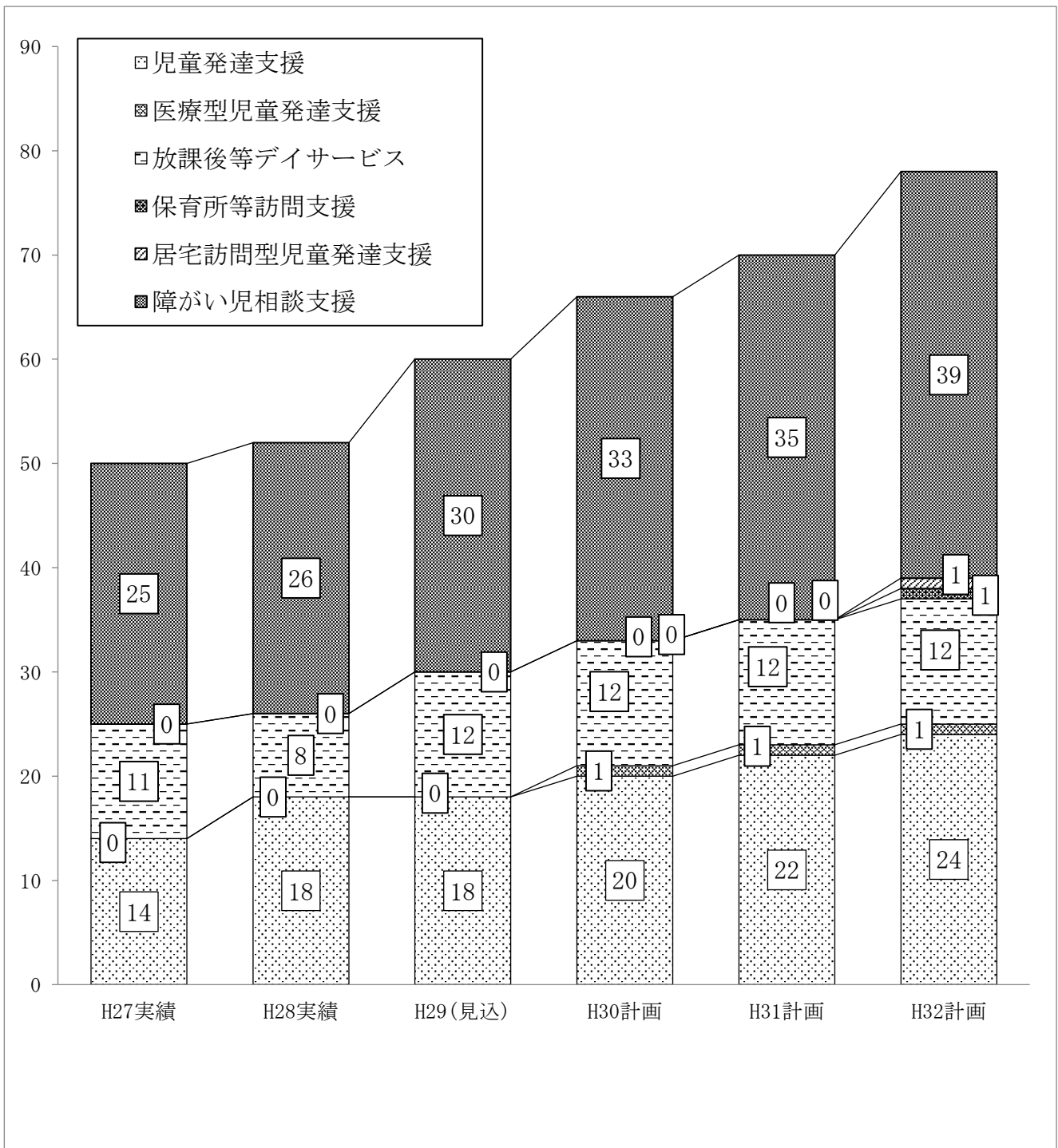
放課後等デイサービスは、平成27年度と平成29年度の利用者数がほぼ同じなため、今後も同数で推移するものとして、12名で見込みます。

医療型児童発達支援は、現在利用者がおりませんので、最低限の目標値を設定します。

保育所等訪問支援及び居宅訪問型児童発達支援は、平成32年度の目標として、それぞれ1名の目標値を設定します。

障がい児相談支援は、第4期障がい福祉計画において目標値を設定していませんでしたが、第1期障がい児福祉計画から設定するものとなります。

各サービス利用の際に計画作成が必要なことから、すべてのサービスの利用実人数の合計数を見込みます。



利用見込人数（一月当たりの利用延人数）

サービス体系	第4期障がい福祉計画					
	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	見込
児童発達支援	26	38	55	53	57	57
医療型児童発達支援	1	0	1	0	1	1
放課後等デイサービス	22	19	26	15	30	24
保育所等訪問支援	0	0	0	0	0	0
居宅訪問型児童発達支援						

一月当たりの利用延人数の現状と第1期最終年度の目標値の設定

児童発達支援は、一月に利用する一人当たりの回数が3回程度のため、実人数に回数を乗じて目標値を設定します。

放課後等デイサービスは、一月に利用する一人当たりの回数が2回程度のため、実人数に回数を乗じて目標値を設定します。

その他のサービスについては、利用者1名が安心して利用できる目標値確保します。

(単位：人／月)

サービス体系	第1期障がい児福祉計画			平成32年度 (第5期) 目標値
	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	目標値	目標値	目標値	
児童発達支援	60	66	72	72
医療型児童発達支援	2	2	2	2
放課後等デイサービス	24	24	24	24
保育所等訪問支援	0	0	5	5
居宅訪問型児童発達支援	0	0	5	5

